

日本の歴史において伊豆地方が舞台となった出来事とその時代の年表

院政の開始、僧兵の横暴、平氏政権と源平の争乱 知行国と売地売官 院政時代の文化

西暦	天皇	院	摂政関白	政治	外交	経済・社会	文化	朝鮮	中国	世界史
1123	崇徳		藤原忠通	1128 (大治3) 鎮守府将軍藤原藤隆死		の制をくだす	泉中尊寺金色堂 (大鏡)			1142 宋と金の講和成立
1129			藤原忠通	1129 (大治4) 平忠盛、瀬戸内海海賊を追捕		○院に荘園の寄進増大	1128 待賢門院(鳥羽后)発願の円勝寺落成供養			1143 ホルトガルの独立
1141	鳥羽		藤原忠通	1132 (長承2) 平忠盛、内院政を許される		1138 京都に大火	1139 崇徳天皇、成勝寺落成供養			1147-49 第2回十字軍
1150	近衛		藤原忠通	1133 (長承2) 宋商船、神崎荘に到着し、平忠盛その貨物を斬る		○八条院領の成立(1140)	1140 鳥羽僧正近衛頼朝(鳥獸戯画)			1154 フランジヤ
1155	後白河		藤原忠通	1137 (保元3) 興隆寺僧徒源平本入京強訴		1146 京都に大火	1149 近衛天皇、延暦寺落成供養			1155 ネット朝成立
1158	後白河		藤原忠通	1146 (久安2) 平清盛、安芸守となる		1150 興福寺・春日神人入京強訴	1151 藤原頼朝「河花和歌集」			1157 セルジューク
1165	六条		藤原基実	1150 (久安6) 左大臣藤原頼朝、関白忠通と争い氏長者となる		1157 大内裏造営の儀役を社寺領・諸家荘園に課す	1155 藤原為経「後葉和歌集」			1157 セルジューク
1166	六条	後白河	藤原基実	1154 (久寿1) 源為朝の乱行により父源為義が右衛門尉を解任される		1167 清盛に播磨・肥前・肥後等の地を与え、大功山とす	1160 時白鳥水阿弥陀堂			1167 ロンバルディア同盟の結成
1168	高倉		藤原基房	1156 (保元1) 保元の乱(源為義ら12人斬首、為朝伊豆大島に配流)		1168 京都に大火	1164 蓮華王院(三十三間堂)創建			1177 宋と金の講和
1179	高倉		藤原基房	1159 (平治1) 平治の乱(藤原信西自裁、信賴斬首)		○清盛、宋との貿易をはかる	1167 清盛、書写経32巻蔵鳥神社に奉納(平家納経)			1177 宋と金の講和
1180	高倉		藤原基通	1160 (永暦1) 源義朝、平氏(野間)で謀殺、源頼朝を伊豆に配流		1177 京都に大火、180町2万	1167 清盛、書写経32巻蔵鳥神社に奉納(平家納経)			1177 宋と金の講和
1181	高倉		藤原基通	1166 (文永1) 源義朝、平氏(野間)で謀殺、源頼朝を伊豆に配流		1180 大輪田宿禰を奉行	1168 茶西入宋し、同年帰国			1177 宋と金の講和
1183	後白河		藤原師家	1167 (長承2) 平清盛、太政大臣となる		○京中飢饉、疫病流行	1170 「今鏡」の「伴大納言絵巻」			1177 宋と金の講和
1185	後白河		藤原基通	1170 (嘉徳2) 法皇、宋使を藤原に引見。藤原秀衡を鎮守府将軍に任ず		○養和の大飢饉	1175 法然(源空)、尊徳念仏(浄土宗)を唱へ			1177 宋と金の講和
1185	後白河		藤原基通	1172 (安永2) 平徳子を中宮とする。宋の明州刺史が法皇・清盛に方物を献上		1184 頼朝、関東御分司3か国を獲得	1181 平頼朝、東大寺・興福寺を焼く			1177 宋と金の講和
1185	後白河		藤原基通	1177 (治承1) 藤原泰衡の陰謀		1185 頼朝、関東御分司6か国を獲得	1180 平頼朝、東大寺・興福寺を焼く			1177 宋と金の講和
1185	後白河		藤原基通	1179 (治承3) 清盛、院政を停止し、後白河法皇を鳥羽殿に幽閉		1185 頼朝、関東御分司6か国を獲得	1181 平頼朝、東大寺・興福寺を焼く			1177 宋と金の講和
1185	後白河		藤原基通	1180 (治承4) 4. 仁王の乱、5. 源頼朝挙兵、6. 福原遷都、8. 源頼朝伊豆に挙兵(石橋山の戦い)、安房に敗走、9. 宋使藤原泰衡、10. 頼朝鎌倉入り、宮川川の戦いで平維盛敗走、11. 侍所(別当和田義盛)設置		1185 頼朝、関東御分司6か国を獲得	1181 平頼朝、東大寺・興福寺を焼く			1177 宋と金の講和
1185	後白河		藤原基通	1181 (養和1) 清盛死(64歳)。頼朝、政治意見を密奏		1185 頼朝、関東御分司6か国を獲得	1181 平頼朝、東大寺・興福寺を焼く			1177 宋と金の講和
1185	後白河		藤原基通	1183 (寿永2) 5. 劔波山の戦い、7. 養冲入京(平宗盛、天皇を奉じて西海に赴く)、10. 頼朝、東国沙汰権獲得(11月官旨、寿永の官旨)		1185 頼朝、関東御分司6か国を獲得	1181 平頼朝、東大寺・興福寺を焼く			1177 宋と金の講和
1185	後白河		藤原基通	1184 (寿永3) 1. 養冲、津に敗走、2. 11月の戦い、10. 頼朝、公文所(別当大江広元)・問注所(執事三善康俊)設置		1185 頼朝、関東御分司6か国を獲得	1181 平頼朝、東大寺・興福寺を焼く			1177 宋と金の講和
1185	後白河		藤原基通	1185 (文治1) 2. 原島の戦い、3. 原の浦の戦い(平氏滅亡)、10. 頼朝追討の官旨、11. 義経追討の院旨、諸国に守護・地頭を設置		1185 頼朝、関東御分司6か国を獲得	1181 平頼朝、東大寺・興福寺を焼く			1177 宋と金の講和

室町幕府の衰退～応仁の乱～織豊政権～江戸幕府へ 1 土一揆・国一揆

西暦	天皇	将軍	政治	外交	経済・社会	文化	朝鮮	中国	世界史
1450	後花園		1450 (宝徳2) 長尾景仲・上杉房顕、足利成氏を攻撃		一揆の頻発	東山文化			
1451	後花園		1451 (宝徳3) 法橋、兵庫に幕を第11回遣明船		1452 狭井田に徳政一揆	1450 京都、奄安寺創建			
1452	後花園		1452 (享徳1) 細川勝元、管領となる		1454 山城に徳政一揆	1451 義政、北小路邸に学問所を造る			
1453	後花園		1453 (享徳2) 高山寺・長谷寺・武井妙法寺が遣明船を遣わす		1455 諸寺、銅鑄銭の制を定める	1453 「三体和歌集」(大徳寺貞珠庵)			1453 東ローマ帝国滅亡
1454	後花園		1454 (享徳3) 高山義統・政長、家督を争う。成氏、上杉謙信を攻め殺す		1459 京都七日に新聞設置	1456 金春季行「歌舞曲集」			
1455	後花園		1455 (享徳4) 上杉房顕、成氏と戦う。成氏、下総古河に敗走(古河公方の初め)		1460 蘭所、繰糸・連奉法を制定	1458 尾形等の制を定める			
1464	足利義政		1457 (長祿1) 太田道灌、江戸城を築く。義政、弟義隆を伊豆越後に派遣(遠越公方の初め)		1465 山城西側に徳政一揆	1459 立花の流行			
1464	足利義政		1464 (寛正1) 高山政長、管領となる。義政の弟義隆、還俗して義親と改称		1465 山城西側に徳政一揆	1464 義政、糺原で動産撲滅を見る			
1465	足利義政		1465 (寛正2) 義政夫人日野富子、義隆を生む		1467 年、明に渡る	1467 年、明に渡る			
1466	足利義政		1466 (寛正3) 上杉房顕死。上杉謙信、関東管領となる。斯波義隆、義隆の家督争い		1468 山城西側に徳政一揆	1470 周鳳「善隣國宝記」			
1467	足利義政		1467 (応仁1) 義隆、管領となる。応仁の乱(～77)(細川側＝東軍、山内側＝西軍)		1472 近江坂本に馬場一揆	1471 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1468	足利義政		1468 (応仁2) 勝元、管領となる。公家・僧侶ら地方へ還鄉		1472 近江坂本に馬場一揆	1471 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1471	足利義政		1471 (文明3) 古河公方成氏と堀越公方政知が戦う		1472 近江坂本に馬場一揆	1471 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1473	足利義政		1473 (文明5) 山名持豊(宗全)死。細川勝元死。義隆将軍となる		1480 京都・奈良に徳政一揆	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1474	足利義政		1474 (文明6) 義政、朝鮮に書を送り明の勸告を求める		1480 京都・奈良に徳政一揆	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1477	足利義政		1477 (文明9) 応仁の乱終結(諸將の多くは殉死)		1485 山城の国一揆(～93)	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1481	足利義政		1481 (文明13) 義政、勘合船を朝鮮に派遣し大蔵経を得る		1488 加賀一揆(～1580)	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1483	足利義政		1483 (文明15) 義政、龍泉寺の厨庫を明に派遣		1490 奈良・大相に上一揆	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1486	足利義政		1486 (文明18) 大内政弘、禁制五箇条制定。扇谷上杉定正、太田道灌を殺害		1498 奈良・大相に上一揆	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1488	足利義政		1488 (長享2) 扇谷上杉定正、山内上杉顕定を破る		1498 奈良・大相に上一揆	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1489	足利義政		群雄割拠(戦国大名の分国支配)		1498 奈良・大相に上一揆	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1490	足利義政		1491 (徳徳2) 伊勢長政(早雲)伊豆に自立、1493(明徳2) 北条早雲 堀越御所改築		1498 奈良・大相に上一揆	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1493	足利義政		1493 (明徳3) 細川長政が将軍に背き、政知の子義隆を擁して挙兵		1498 奈良・大相に上一揆	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1494	足利義政		1494 (明徳4) 北条早雲、小田原城を奪取(相模に進出)		1498 奈良・大相に上一揆	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1500	足利義隆		1501 (元亀1) 朝長、幕府に即位礼の費用未む(朝廷の脅威)		1500 京都大火2万+焼死	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1507	足利義隆		1507 (永正4) 大内義興、足利義隆を奉じて安芸国に入る(1508年このころまでに蓮山城築城)		1506 北陸に上一揆	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1510	足利義隆		1510 (永正7) 三浦の乱。上杉顕定、長尾為景と戦い敗走		1520 京都に上一揆	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1516	足利義隆		1516 (永正13) 幕府、大内義興に渡明船の管掌を命ず		1526 今川氏親、今川假名目録を制定	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1517	足利義隆		1517 (永正14) 武田信虎、今川氏親と和す。氏親、遠江を合併		1533 第11回遣明船(光教)	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1521	足利義隆		1521 (大永1) 後柏原天皇、践祚22日に即位の儀を行う		1536 細川顯俊と和す	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1523	足利義隆		1523 (大永3) 東遷の乱(大内・細川両氏の使者、明の宰政で争う)		1536 伊達綱宗「義隆集」制定	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1536	足利義隆		1536 (天文5) 延暦寺の衆徒が法華宗徒と対立(天文法華の乱)		1540 定国に疫病流行	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1538	足利義隆		1538 (天文7) 足利義興・兼光、北条氏綱・氏康と戦う(国府台の戦い)		1547 「結城氏新法」制定	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1541	足利義隆		1541 (天文10) 毛利元就、尼子晴久を破る。武田晴信、父の信虎を討つ		1557 豊後府内にイエズス会の病院	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1542	足利義隆		1542 (天文11) 斎藤道三(秀龍)が主の上杉氏を討つ		1557 豊後府内にイエズス会の病院	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1543	足利義隆		1543 (天文12) ホルトガル人が種子島に漂着(鉄砲伝来)		1557 豊後府内にイエズス会の病院	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1546	足利義隆		1546 (天文15) 北条氏康、(扇谷)上杉顕定・(山内)上杉憲政を破る(扇谷上杉滅亡)		1557 豊後府内にイエズス会の病院	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1547	足利義隆		1547 (天文16) 大内義隆、遣明船を派遣(最後の遣明船となる)		1557 豊後府内にイエズス会の病院	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1549	足利義隆		1549 (天文18) 松平千代(家康)、今川氏の人質となる		1557 豊後府内にイエズス会の病院	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1550	足利義隆		1550 (天文19) 三好長慶入洛、義隆近江に逃亡。ホルトガル船平戸にはいる		1557 豊後府内にイエズス会の病院	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1551	足利義隆		1551 (天文20) 陶晴賢、大内義隆を殺害。勘合貿易の断絶		1557 豊後府内にイエズス会の病院	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1553	足利義隆		1553 (天文22) 長尾景虎・武田晴信、川中島で戦う(以後55、58、61、64に対陣)		1557 豊後府内にイエズス会の病院	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			
1555	足利義隆		1555 (弘治1) 信長、清洲へ入城。毛利元就、陶晴賢を破る。(織島の戦い)		1557 豊後府内にイエズス会の病院	1472 蓮如、越前に吉崎庵を創建			

織豊政権の成立

西暦	天皇	将軍	政治	外交	経済・社会	文化	朝鮮	中国	世界史
1560	足利義隆		織豊政権の成立		検地・刀狩による郷村支配	キリスト教の進出			
1560	足利義隆		1560 (永祿3) 桶狭間の戦い(織田信長、今川氏を破る)		1563 河内一揆	1566 狩野永徳「大徳寺聚楽院絵巻」			1562-98 ユグノー戦争
1561	足利義隆		1561 (永祿4) 長尾景虎、関東管領となり上杉氏を嗣ぐ		1567 信長、美濃加納を築きとす	1567 松永・三好の抗争で東大寺大仏殿焼失			1568 オランダ独立戦争(～1609)
1567	足利義隆		1567 (永祿10) 信長、高松築城の桶狭山山城を落とす岐阜城と改め、ここに移る		1568 信長、摂津・相模に足利を賦課。諸国の関所撤廃	1569 信長、宣教師ルイス・フロイスを謁見(宣教師の京都居住を許可)			1571 レバント海戦
1568	足利義隆		1568 (永祿11) 信長、足利義隆を奉じて入京		1569 信長、摂津・相模に足利を賦課。諸国の関所撤廃	1572 信長、フランシスコ・コブラルを謁見			
1570	足利義隆		1570 (元亀1) 細川隆興(信長、浅井長政・朝倉義景の連合軍を破る)		1571 信長、摂津・相模に足利を賦課。諸国の関所撤廃	1574 狩野永徳「洛中洛外図屏風」			
1573	足利義隆		1573 (天正1) 室町幕府滅亡(義隆、浅井長政へ追放)		1574 信長、伊勢長島の一方向一揆を平定(1570～)	1576 安土城完成。京都南雲寺建立			
1575	足利義隆		1575 (天正3) 長祿合戦(信長・徳川家康の連合軍に武田勝頼破れる)		1575 信長、越前一向一揆に移る	1579 安土宗論(浄土宗・安土一蓮宗目録)。信長、オルガンティノに、安土に教会建設を許可			
1576	足利義隆		1576 (天正4) 信長、安土城に移る		1577 信長、安土を築きとす	1582 大友・大村・有馬氏、少年使節をローマへ派遣(～90)(大正道使節)の「妙法蓮華経(茶室)」			1580 イスパニア、オルガンティノを併合
1580	足利義隆		1580 (天正8) 信長、石山本願寺(光教)と講和(石山合戦1570～)		1582 太閤検地始まる(～98)	1583 大坂城築城開始(～85)			1581 オランダ独立宣言
1582	足利義隆		1582 (天正10) 3. 美濃の戦い(武田氏滅亡) 6. 本能寺の変(信長自殺)		1585 秀吉、紀伊根来・雑賀一揆を討つ	1586 法王寺大仏殿建立			1584 大正道使節、イスパニア王、イベラ2世に謁見
1583	足利義隆		1583 (天正11) 賤ヶ岳の戦い(秀吉、柴田勝家を討つ)		1585 秀吉、紀伊根来・雑賀一揆を討つ	1587 藤原義成(遺構)大徳寺唐門・西本願寺(飛騨)。			1585 大正道使節、教皇に謁見
1584	足利義隆		1584 (天正12) 小牧・長久手の戦い。イスパニア商船初めて平戸へ来航		1587 太閤検地始まる(～98)	1590 ヴァリニャーニ、再度米日(南蛮書字活字印刷)を伝へる。「泰西土儀略記(蘭語訳)」(最古活字)。			1588 イスパニア無敵艦隊、イギリス海軍に敗北
1585	足利義隆		1585 (天正13) 秀吉、四国平定(長宗我部氏を降す)。秀吉、関白となる		1588 刀狩令。天正大判・小判鋳造	1591 千利休自裁。キリスト教刊行の初め			1589 フルボン朝成立(11)
1586	足利義隆		1586 (天正14) 秀吉、太政大臣となり豊臣姓を賜る		1588 刀狩令。天正大判・小判鋳造	1591 千利休自裁。キリスト教刊行の初め			
1587	足利義隆		1587 (天正15) 豊臣秀吉、九州平定(島津氏を降す)。朝鮮国王へ入貢要求(朝鮮併呑)。パテレン道成令		1588 刀狩令。天正大判・小判鋳造	1591 千利休自裁。キリスト教刊行の初め			
1588	足利義隆		1588 (天正16) 築山に後陽成天皇を迎える。海賊取締令		1588 刀狩令。天正大判・小判鋳造	1591 千利休自裁。キリスト教刊行の初め			
1590	足利義隆		1590 (天正18) 小田原攻め(北条氏を降す)。家康、江戸城に入る。奥州平定(伊達氏を降す)し、秀吉の全国統一完成		1590 蕨飛脚始まる	1591 千利休自裁。キリスト教刊行の初め			

Table with 6 columns: 西暦 (Year), 天皇 (Emperor), 将軍 (Shogun), 政治 (Politics), 外交 (Diplomacy), 経済・社会 (Economy/Society), 文化 (Culture), 世界史 (World History). The table covers the period from 1560 to 1615, detailing the transition from the Muromachi shogunate to the Edo shogunate, including the rise of the Toyotomi clan and the establishment of the Edo shogunate.

株式会社 浜島書店「総合資料日本史 1994版」をベースに作成しました 埼葛旅文化研究所

Advertisement for '総合資料日本史' (Comprehensive Japanese History Reference). It features a book cover image and a photograph of a Buddhist statue. Text includes the publisher '浜島書店' (Hamashima Shoten) and ISBN information.